

今回は振動実験ではなく、ジャッキによる静的な押し引き水平加力実験でした。

21日に行われた長辺方向の最大加力実験では、層間変形角が1/10radを超えたところで柱の曲げ破壊が始まり、続けて数本の柱が破壊しました。土壁ありの振動実

験結果と一概に比較できませんが、軸組の耐力は予想以上にあったというのが研究者を含めた実験関係者の感想でした。(西村)



実大静加力実験

お知らせ

第31回ジャパンホームショー2009に出展

11月11日(水)～13日(金)の3日間(10:00～17:00) 東京ビックサイト(有明・東京国際展示場)・東ホールで開催されます。

住宅に関するものとしては、わが国では歴史もあり、最大規模の展示会です。今年は700社/1,100小間、9万人を超える来場者が見込まれています。

・工務店サポートセンターでは、昨年と同様、18小間の展示コーナーで「長期優良住宅」関連の展示、セミナーを行います。実物大構造モデル(写真は昨年のモデル)に、構成要素の建材、機器、納まり、技術などの展示ブース、増改築、住宅履歴などのブースを計画しています。また、隣接する商談コーナーには、JBN型先導的モデルの完成建物の写真パネルの展示も予定しています。



・工務店サポートセンターでは、昨年と同様、18小間の展示コーナーで「長期優良住宅」関連の展示、セミナーを行います。実物大構造モデル(写真は昨年のモデル)に、構成要素の建材、機器、納まり、技術などの展示ブース、増改築、住宅履歴などのブースを計画しています。また、隣接する商談コーナーには、JBN型先導的モデルの完成建物の写真パネルの展示も予定しています。

全建連型実大モデル

第3回JBN工務店全国大会の開催

11月12日(木) ジャパンホームショーの会期中日に開催します。展示会の見学とあわせて、ご参加をお待ちしています。 ・会場 「ル・バルク」ジャパンホームショー展示会場と同じ東ホール2階、17:30～19:00 詳細は、HPにてご案内します。

顧客向けのパンフレット

「長期優良住宅はお近くのJBN工務店におまかせ下さい」という主旨で顧客向けのパンフレットがまもなく完成し、会員にお届けする予定です。 次世代委員会が計画中の「住まいづくりナビセンター(晴海・トリトンスクエア)」との連携を前提に作成を進めました。ナビセンターの長期優良住宅コーナーで常時配布することとしています。



顧客向けパンフレット

刊行物のご案内

「木造建築士」資格研修テキスト

JBN工務店サポートセンターでは、木造建築士を再評価し、長期優良(木造)住宅の担い手の資格として位置づけ、ちきゅう住宅検査員講習をはじめ、各種講習会を通じて取得をよびかけています。ご活用下さい。

工務店サポートセンター編、刊行・本年5月 定価 3,500円(消費税込)、発行・井上書院 ・この秋には続いて、工務店サポートセンター監修・編「木造住宅・工事管理の実務」が彰国社から出版される予定です。出版に合わせて長期優良住宅の施工管理者講習会の開催も予定しています。

長期優良住宅マニュアル(Ⅰ.申請編)

長期優良住宅説明会用資料として作成したものです。 適合認定の申請に必要な書類の作成、手続きについてのマニュアルです。 工務店サポートセンター編、刊行・本年5月 A4・210ページ、会員には一部無料配布(送料別)

長期優良住宅マニュアル(Ⅱ.建材編)

長期優良住宅の計画・設計の実務に役立てるための建材データベースです。昨年度の全建連型・先導的モデル事業の実績に基づき、使用頻度の高い建材を中心に構成しています。講習会を通じて利用されます。 工務店サポートセンター編、刊行・本年8月 A4・350ページ、会員には一部無料配布(送料別)

長期優良住宅マニュアル(Ⅲ.住宅履歴情報編)

長期優良住宅として認定された住宅は建築及び維持保全の状況に関する記録の作成、保存が義務づけられます。その仕組み、蓄積・活用のあり方、それらを扱う情報サービス機関の事業などを解説したものです。 工務店サポートセンター編、刊行・本年9月以降 説明会で利用します。

*上記4冊の詳細・申込方法は工務店サポートセンターホームページをご覧ください。

募集中

ニュース・ご意見募集

「工務店サポートセンターレポート」では、会員の皆様からの情報を広く募集しています。より良い紙面づくりにご協力下さい。

JBN登録会員募集

全国の工務店の皆様の力を結集するためにスタートしたのがJBN(全建連の工務店ネットワーク)です。地域から必要とされ信頼される工務店として、パワーアップを図りませんか?工務店サポートセンターでは、「地域の工務店」を支援します。



●発行/お問い合わせ 一般社団法人 工務店サポートセンター 〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町12-4 建設国保会館1階 TEL.03-5643-5668 FAX.03-5643-5669 E-mail:jbn@jbn-support.jp homepage: http://www.jbn-support.jp 発行人:藤澤好一 ©工務店サポートセンター 禁無断転載 協力:社団法人 全国中小建築工事業団体連合会

工務店サポートセンター レポート



- <トピックス>
●「長期優良住宅」特集
●先導的モデル事業への応募
●各委員会報告
●支部活動「神奈川県木造住宅協会」

2009 September No.3

9 月号

発行人:藤澤好一 ©工務店サポートセンター 禁無断転載

TOPICS 1

「長期優良住宅」特集

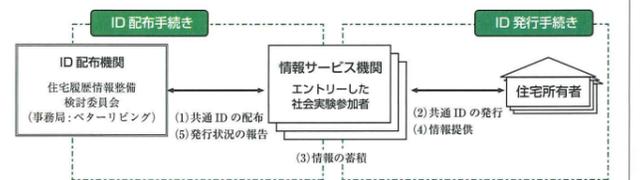
工務店サポートセンター 住宅履歴情報の蓄積・活用の社会実験への参加をエントリーしました。

前号では、工務店サポートセンターが情報サービス機関として業務を開始することをお伝えしました。その前段階として、共通のID・用語などの使用、情報サービス機関と住宅所有者との業務手続きなど、共通の仕組みの運用を検証する社会実験が実施されることになり、これへの参加をエントリー申請しました。

9月4日、エントリー登録証と同時に共通IDの発行を受け、情報サービス機関としての業務を実験的に開始することになりました。この社会実験の期間は9月末までとなっており、その経過と新たな手続きを経て情報サービス機関として本格稼働をさせることとなります。

社会実験では、情報サービス機関の役割として、下図の(1)～(5)について検証されます。(F)

住宅履歴情報整備検討委員会http://www.jutaku-rireki.jp/より



長期優良住宅説明会 part2

「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」の施行により、主要な要件となる「住宅履歴情報の蓄積・活用」の制度がスタートしました。

長期優良住宅の認定を受けた住宅については、その建築および維持保全に関する記録を作成し、保存することが義務付けられます。

工務店サポートセンターでは、JBNメンバー工務店の皆様がそれぞれの地域で「長期優良住宅」の認定、および建築・維持保全に関

開催日	開催地	会場名	定員
9月25日(金)	横浜	かながわ県民センター ホール	200
9月28日(月)	福岡	福岡国際会議場 中会議室(4階)	150
9月29日(火)	神戸	神戸ファッションマート EX4-B+C	150
9月30日(水)	名古屋	名古屋国際会議場 白鳥ホール	150
10月2日(金)	盛岡	岩手産業文化センターアピオ 第9会議室	100
10月7日(水)	長野	メルバルク長野 白鳳ホール	100
10月9日(金)	松山	アイテムえひめ 小展示場B	100

する記録の作成および保存(住宅履歴書)が円滑に行えるように、下記の内容で説明会・パートIIを開催いたします。先に実施したパートIでは、申請マニュアルが中心でしたが、今回は新たに作成した建材マニュアル、住宅履歴情報マニュアルを用いて、制度のあらましと技術的なポイントについて解説します。

開催日程、会場、定員は下表の通り、各会場とも午後1時から5時までの4時間を予定しています。 主な内容は、①JBN・工務店サポートセンターの取組み、②長期優良住宅の認定申請の実務、③申請図書を作成、記録の作成・保存に関する実務、④住宅履歴情報の蓄積・活用のしくみ、などです。

TOPICS 2

先導的モデル事業への応募

「長期優良住宅」先導的モデル事業
本年度第2回提案募集「住宅の新築」と「既存住宅等の改修」の両部門に応募しました。

応募提案は、長期優良住宅先導的モデル事業評価委員会によって評価され、その結果を踏まえて国土交通省が採択を決定します。採択プロジェクトの決定時期は、11月上旬の予定です。(F)

提案の概要は次のとおりです。

【住宅の新築】部門

住宅の長寿命化に向けた基本的考え方は、昨年度第1回提案で掲げた国産材の利用促進を始めとしたコンセプトを踏襲し、さらなる普及推進を図ります。

今回の「全建連・地域木造優良(ちきゆう)住宅先導システム国産材モデル09提案」の先導的提案の内容は以下の3点です。

1. 昨年提案した地域工務店ならではの実績に基づく地道で効果的な技術的提案内容を基本的に踏襲し、長期優良住宅法との整合性を図ります。
2. これからの住宅に求められる環境性能の向上にむけ「CASBEEすまい(戸建)」の評価を導入し、評価員による評価でB+以上を取得します。
3. 長期優良住宅の施工や維持保全計画をより確実化・円滑化するために、「工事記録書」を「工事記録システム」に「住宅履歴書」を「住宅履歴情報管理システム」へ進化させます。

【既存住宅等の改修】部門

地域工務店ならではの住まい守り・価値向上システム提案2009「安心・安全の住まいの保守・点検・向上」

戸建て木造住宅ストック市場への対応は緊急の課題として、下記の内容を織り込みました。

- ① 地域工務店によるこれまでの実績、手がけてきた経験を生かすシステムの提案
- ② 「全建連・木造軸組住宅既存改修指針」の整備による総合的劣化診断と改修計画の立案
- ③ 「ちきゆう住宅検査員S」による調査・劣化診断・改修計画の連続した立案、第3者「ちきゆう住宅検査員L」及び既存住宅性能表示制度によるインスペクションシステム
- ④ 「全建連・木造軸組住宅既存改修指針」仕様に基づく「改修工事記録書」(仕様確認型)による施工確認と品質確保
- ⑤ 「既存住宅履歴書」の作成による5年ごとの維持保全計画の実施

TOPICS 3

木造住宅のための構造安定に関する基準整備

「木造住宅のための構造の安定に関する基準に基づく横架材および基礎のSPAN表」の整備を(財)日本住宅・木材技術センターへ要請

国産材利用拡大委員会、次世代委員会の両委員長からの申し出を受けて、工務店サポートセンター長名で次のような要請文を発送しました。

長期優良住宅の認定要件の一つである「耐震等級2以上」を満たすための検証頻度が高まっていること、長期優良住宅の適合証を発行する指定審査機関では、性能表示耐震等級において使用できるのは(財)日本住宅・木材技術センターのSPAN表に限られていること、しかしながら、現在のSPAN表では設定の項目・条件の範囲に限られており、利用できるケースも限られていることなど現状を訴え、横架材のSPAN表の樹種、および部材の項目の増補、横架材のSPAN表の条件としてJAS機械等級の追加、JAS同等の試験によりヤング係数が確認されたものについては使用条件の明示など、について検討を要請しました。(F)

TOPICS 4

第5回「増改築委員会」8月25日(火)

静岡県がすすめる既存住宅の耐震改修

静岡県県民部建築住宅局建築安全推進室・早津和之主幹を招き、「静岡県の東海地震対策プロジェクト・TOKAI-0」について、県が発行するパンフレット類とパワーポイントをもとに説明を受けました。プロジェクト名称のTOKAI-0は、シンボルマークにもなっています。「東海地震にみまわれても住宅の倒壊による死者はゼロに」のローガンをあらわしたもので、東海と倒壊の意味を重ねたものです。地震災害から県民の生命を守るには、住宅を耐震化し、倒壊させないこと。とりわけ木造住宅の耐震補強工事の推進にむけた県住宅行政の取り組みが紹介されました。

一つは住宅の所有者への働きかけ。耐震補強工事につなげるためにはまず診断、補強計画の作成が前提となる。そのための周知啓発用の媒体、広報活動、助成制度などについての説明でした。

もう一つは信頼できる地域の施工業者の存在。その把握、そして評価、育成、組織化など、行政としてソフト、ハード両面からの取り組みの現状が説明されました。

住宅の耐震化改修工事が地域工務店のこれからの重要

支部活動の紹介 神奈川県木造住宅協会

「かながわ 200年の家」
モデルハウスの建設

設立から三年目に入りました。「再び、工務店の時代をつくろう」、青木会長が全建連会長就任と同時に、地元の仲間へ呼びかけて設立された組織で、現在の加盟数は30社です。代表の長森延久(長森建設)氏のリーダーシップのもと、これまで公開フォーラムや講習会などを度々開催し、会場は参加者でいっぱいになるのですが、なかなか会員増には結びつかないようです。ところが県内のJBN会員数はその倍を数えており、支部の枠を超えた連携を求める声も出ています。

それに応える取組みが「かながわ200年の家」の建設です。神奈川県産材を活用する長期優良住宅モデルハウスを通じて、県内のJBN工務店の認知度を高め、

県民への啓蒙をはかるというものです。

今年度、全建連JBNでは各地で26件の長期優良住宅モデルハウスの建設事業を展開中ですが、この事業はそのうちの一つです。

県内のJBN工務店が全建連型先導モデルをベースに「神奈川の木で、神奈川の技で、神奈川の家」を手がけていこうというものです。

そのコンセプトは、神奈川県産認証材(丹沢材の桧・杉・松)を使い、仕様は全建連型先導モデルに準じ、若手大工(番匠塾OB)をはじめ、協力専門職はすべて40代までの若手、他にも環境への対応、先進的な技術の導入など欲張った要素が盛り込まれています。県内JBN会員の交流による地域型の追求がテーマです。(F)



神奈川の地松(タイコ梁)

な仕事として位置づけ、さまざま支援策を打ち出そうとしている工務店サポートセンターにとって、静岡県の実績な取り組みは、参考になり大いに力づけられました。(F)

TOPICS 5

次世代委員会

次世代委員会の取組み

次世代委員会は今年で2年目を迎え、委員も18人になりました。

今年度の活動テーマは、委員各社の社員も含めたスキルアップにむけて実践的なセミナーなどを行いながら、JBNの取組みとJBN工務店を広く認知してもらうための活動です。

スキルアップの実践講習として、言葉より分かりやすく素早く相手にイメージを伝えるテクニックを学ぶ「早書きパース講習会」、工務店自身が構造提案を行うべきとして「構造計算ソフト活用講習会」などを開催しました。

また、一般向け広報活動として、下記のような一般消費者向けセミナーの企画及び準備を進めています。

11月7日(土)

セミナー 13:00~15:30 (定員約100人)

相談会 15:30~17:30

会場: 住まいづくりナビセンター(晴海・トリトンスクエア) <http://sumanavi.info/>

今後もこれらの活動を通し、会員同士の交流と情報交換の場としていきたいと考えています。

次世代を活力あふれるものにするためにも、多くの方々参加をお待ちしています。

長岡一泊研修「藤川建設&重川材木」見学

次世代メンバーの活動と長岡花火大会の見学を兼ね、一泊二日の研修会を行いました。

初日、藤川建設が介護とバリアフリーを長岡杉による伝統工法で完成させた住宅を見学させていただきました。施主の方が工務店の住まいづくりのこだわりを得意そうに説明され、お客様との信頼関係の深さを感じました。

夜は長岡花火大会。藤川社長が用意してくれたサジキ席からの見学で迫力満点でしたが、あいにくの雨でコップ酒は水割り状態。帰るころにはひどい土砂降り、誰だ、雨男は?

翌日は加茂市で重川材木が企画、分譲した小さな街づくりをモデルルームを見学しました。世代別に純和風と和風モダンの2棟を見学し、その後製材所「緑の森」を見学。敷地内には田植え体験ができる田があり、そこで収穫された米で作ったおにぎりをご馳走になりました。重川さんの様々なことに意欲的に取り組んでいる様子をうかがうことが出来ました。(鈴木晴)



長岡花火大会

TOPICS 6

伝統的構法の設計法作成及び性能検証実験検討委員会

伝統的軸組構法 実大静加力実験

8月12日から8月21日の間、つくばの建築研究所でA棟(地方型)の「実大静加力実験」が行われました。試験体は昨年末Eディフェンスで行われた「実大振動台実験」の建物と同じ仕様の土壁をなくした軸組のみの建物です。